

2015年度～2017年度 中期経営計画

2015年5月1日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

中期的な外部環境の見通し

マクロ環境

- ・ユーロ圏、中国の情勢については引き続き注視が必要だが、米国、ASEANを中心に世界的には安定した成長を継続
- ・日本国内は、政府の経済政策や金融政策、円安、株高などを背景に緩やかに成長

IT市場動向

- ・日本国内のIT市場は横ばい(ハードウェア市場は縮小、ただし、ソフトウェア市場及びITサービス市場は拡大)
- ・ASEAN5か国のIT市場は経済成長を受け高成長が続く

注目される ビジネステーマ

電力自由化

マイナンバー

オリンピック

IoT

SNS

中期経営計画：目指す姿とテーマ

ビジョン(目指す姿)

リーディング・カンパニーとして、IT産業の進化を担う

コミットメント

「2つの5,000」

2017年度目標

成長	売上	5,000億円
収益力	営業利益	400億円(営利率8%)
資本効率	ROE	10%超

参考目標

企業価値	時価総額	5,000億円超 (早期に実現)
------	------	---------------------

重点テーマ 「3つのシフト」

1

「サービス型」へのシフト
(サービス型ビジネスの比率を50%超に)

2

「総合力」経営へのシフト
(セグメントの枠を超える総合力を発揮)

3

成長「投資」へのシフト
(人、技術、事業への投資を強力に推進)

3つのシフトを支える経営基盤の強化

中期経営計画の位置付け

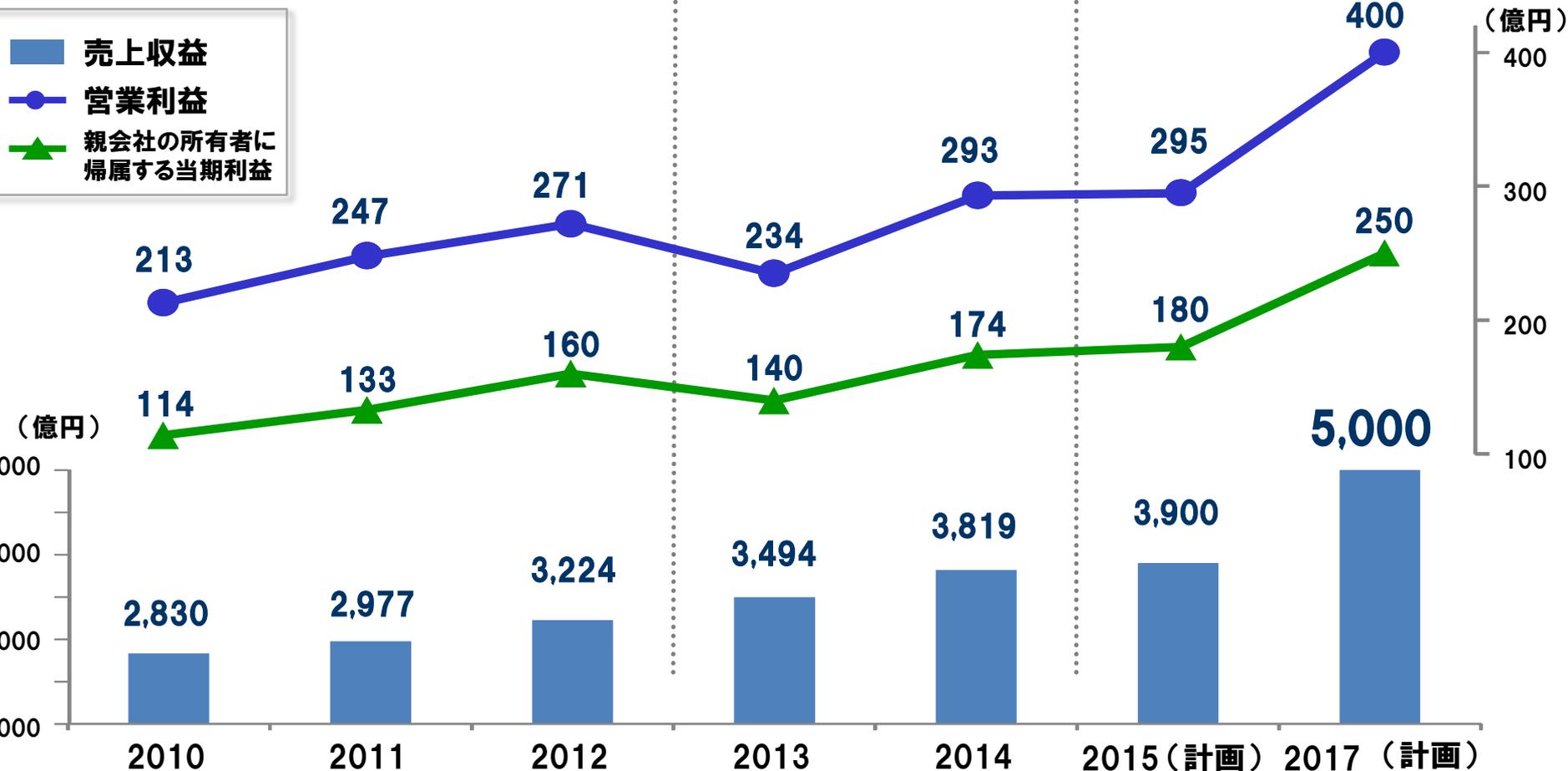
- リーディング・カンパニーとして、IT産業の進化を担う -



2010-12年度
中期経営計画

2013-14年度
中期経営計画

2015-17年度
中期経営計画



(2010年～2013年度は日本基準、2014年度以降はIFRS基準)

シフト
1

「サービス型」へのシフト

サービス型ビジネスの比率を
50%超に

1

CTCクラウド 2.0

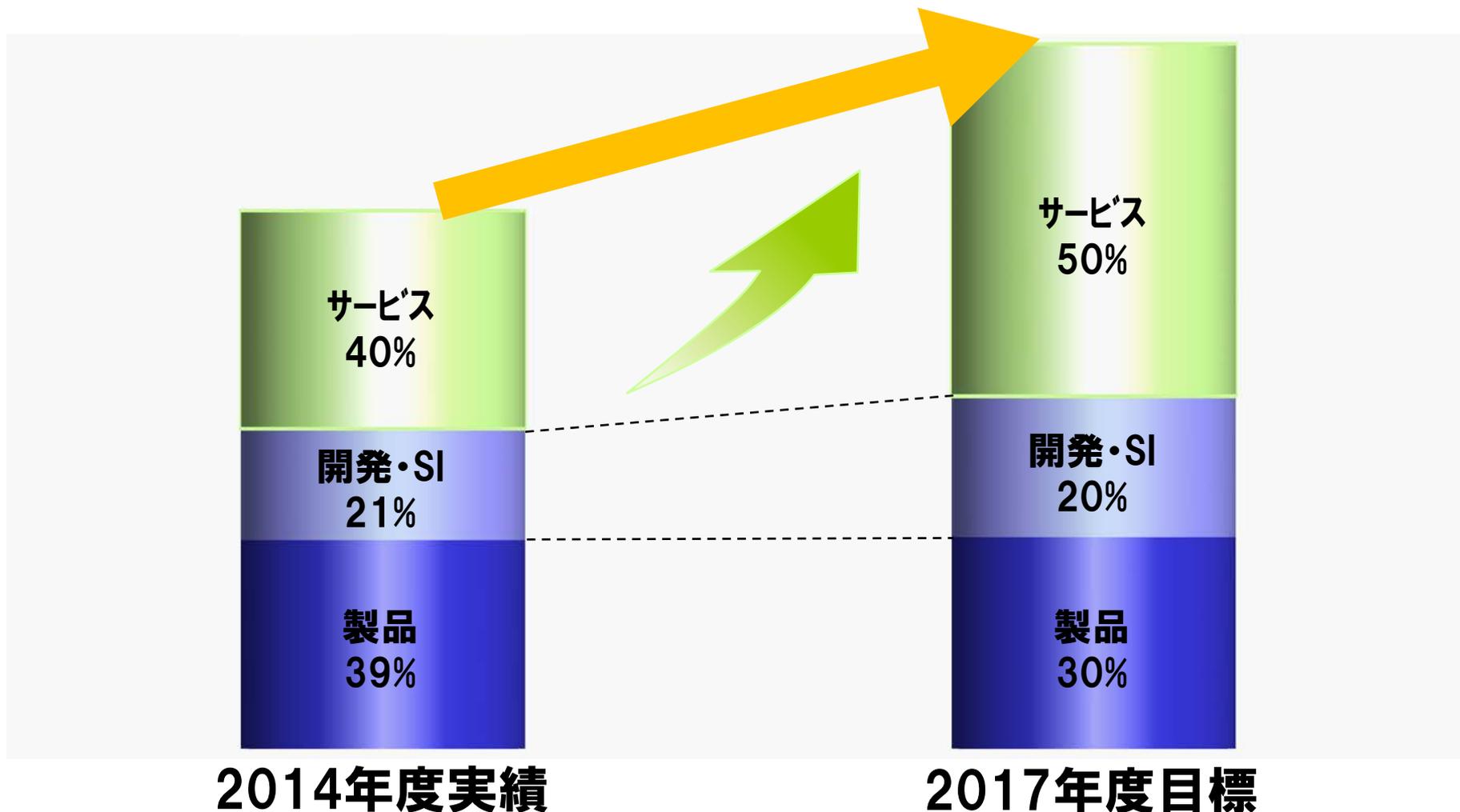
2

運用・保守の新展開

3

新規サービス事業

(参考) ビジネスモデル別の売上構成比



シフト
2

「総合力」経営へのシフト

セグメントの枠を超える
総合力を発揮

1

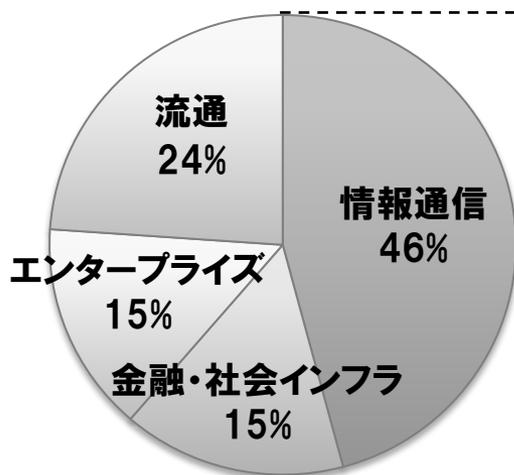
大型案件、重点顧客への対応

2

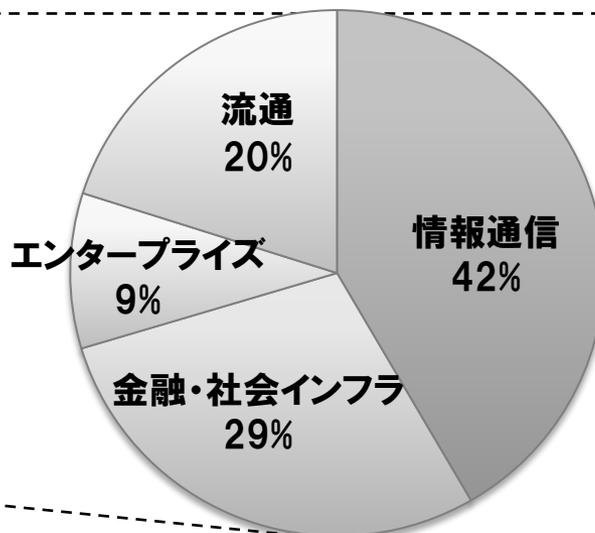
エリアの拡大
(グローバル2.0 + 地方創生)

(参考) 主要事業グループの営業利益構成比

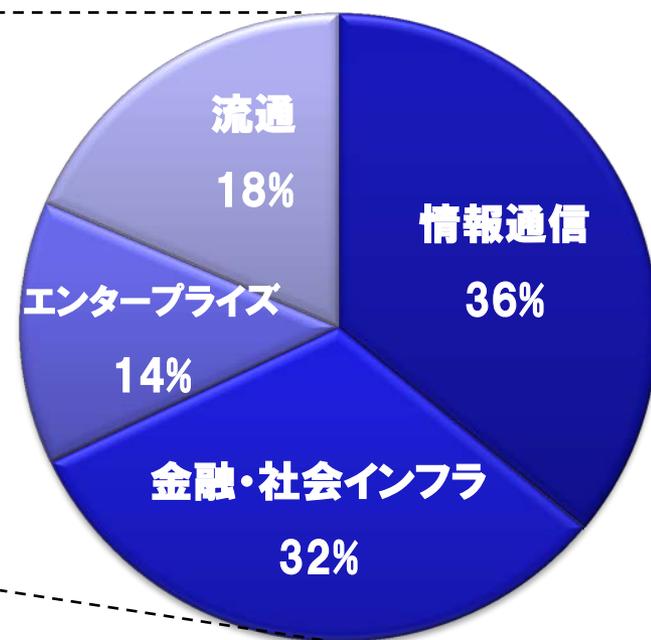
2013年度実績



2014年度実績



2017年度目標



シフト
3

成長「投資」へのシフト

人、技術、事業への投資を
強力に推進

1 人、技術への投資

2 内外M&A

3つのシフトを支える経営基盤の更なる強化

1

開発不採算の抑制

2

魅力ある会社づくり

3

柔軟な資本政策